

先週のマーケット動向(10月12日～10月15日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,196.0	1,200.4	1,181.5	1,182.4	▲12.2
JPY/KRW	10.5477	10.5970	10.3548	10.3665	▲0.309
KOSPI	2,950.22	3,021.90	2,901.51	3,015.06	+58.76

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落した。原油価額上昇によるインフレ懸念を受けて12日は1,196.0ウォンでオープン。序盤から外国人投資家の株売りが拡大し、ドル/ウォンは節目である1,200ウォンを突破した。BOK金融通貨委員会では基準金利(0.75%)が据え置かれたものの、11月の利上げを示唆されると一時ドル/ウォンは反落。BOK総裁の会見では11月の利上げが示唆されたものの、ドル/ウォンは1,200付近で底堅く推移した。しかし、13日以降は当局によるウォン買い介入への警戒感からドル/ウォンは反落。さらに足許のインフレ高進に対するドル買いや米長期金利の上昇も食傷気味であり、FOMC議事録発表をこなすと材料出尽くしから反転する展開となった。14日海外時間に発表された9月食品・エネルギーを除くPPIは市場予想を下回り、インフレ圧力に緩和の兆しが見えていることが示されると、韓国株式にも外国人投資家による株の買い戻しが入り、ドル/ウォンは下落。結局、先週末対比12.2ウォン下落の1,182.4ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は底堅く推移する展開を予想する。先週はインフレ圧力によるドル買いトレードが一服したことや、当局によるウォン買い介入への警戒感からドル/ウォンは大きく下落している。一方で中長期的に見れば、原油高やサプライチェーンの混乱などインフレ圧力への懸念はくすぶり続けており、ドル買いトレンドは続くものと考えられる。また1,180付近はドル/ウォンの調整の下限として意識されやすく、何かのきっかけで反発する可能性はあるだろう。についてはドル/ウォンは調整の下限を丁寧に見極めていきたい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1175 ~ 1200	10.25 ~ 10.55	113.4 ~ 115.4

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 18日(月) 中 9月 鉱工業生産 速報値
中 9月 小売売上高 速報値
米 9月 鉱工業生産 速報値
中 3Q GDP
- 19日(火) 米 9月 住宅着工件数 速報値
- 20日(水) 日 9月 貿易統計 速報値
欧 9月 CPI 確報値
- 21日(木) 欧 10月 消費者信頼感指数 一次速報
米 9月 中古住宅販売件数 速報値
- 22日(金) 米 10月 製造業PMI 速報値
欧 10月 製造業PMI 速報値
欧 10月 サービス業PMI 速報値
米 10月 サービス業PMI 速報値
日 9月 CPI 速報値